令和７年度つくば市水道事業会計決算の概要と経営分析

●令和７年度の主な取組

令和７年度の事業経営は、人口増加により水需要が伸び有収水量も増加したことに加え、水道料金の改定により、水道事業収益は前年度より約７億3,919万円（税抜き）増加しました。また、水道事業費用は前年度より約10億9,803万円（税抜き）増加しました。費用が増加した主な要因は、水道事業が保有していた春日庁舎を一般会計へ移管したことに伴い発生した損失（約９億9,065万円）を計上したためです。

当年度純利益は前年度に比べ約３億5,884万円減少しましたが、結果として約３億1,020万円の黒字となりました。

建設改良事業では、水道未整備地域への配水管整備事業を推進し水道普及率の向上に努めるとともに、安全で安心な水の安定供給を持続させるため、老朽化した管路及び配水場施設等の更新を実施しました。

業務実績については、給水戸数及び年間配水量ともに前年度実績を上回りました。水需要については、業務用水量及び生活用水量ともに前年度よりも増加しました。

●業務実績

項　　目	単位	令和７年度	令和６年度	比較増減
A 給水区域内人口	（人）	263,206	260,224	2,982
B 現在給水人口	（人）	240,808	237,261	3,547
C 普及率（B/A）	（%）	91.49	91.18	0.31
給　水　戸　数	（戸）	116,987	113,613	3,374
年 間 配 水 量	（㎥）	26,930,320	26,315,380	614,940
県　受　水	（㎥）	26,930,320	26,315,380	614,940
年 間 有 収 水 量	（㎥）	24,744,482	24,271,450	473,032
有　　収　　率	（%）	91.88	92.23	△ 0.35
職　　員　　数	（人）	34	35	△ 1

●収益的収支（公営企業の経営活動に伴い発生するすべての収入・支出）

（単位：千円、税込み）

項　　目	令和７年度	令和６年度	比較増減
収 益 的 収 入	7,327,212	6,526,081	801,131
収 益 的 支 出	6,679,064	5,567,353	1,111,711
収　支　差　引	648,148	958,728	△ 310,580

●資本的収支（公営企業の活動を行うために必要な施設の整備や拡充などの建設改良費に要する収入・支出）

（単位：千円、税込み）

項　　目	令和7年度	令和６年度	比較増減
資 本 的 収 入	2,310,654	2,492,785	△ 182,131
資 本 的 支 出	4,611,302	4,225,347	385,955
収　支　差　引	△ 2,300,648	△ 1,732,562	△ 568,086

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金（減価償却費等の現金支出を伴わない経費）等で補填しました。

●比較損益計算書

（単位：千円、税抜き）

区　　分	令和７年度 決算額（A）	令和６年度 決算額（B）	比　較　増　減 （A）－（B）＝（C）	増　減　率 （C）／（B）％
1　総収益	6,657,762	5,918,575	739,187	12.5
（１）営業収益	6,099,277	5,299,003	800,274	15.1
（２）営業外収益	558,485	617,877	△ 59,392	△ 9.6
（３）特別利益	0	1,695	△ 1,695	△ 100.0
2　総費用	6,347,565	5,249,535	1,098,030	20.9
（１）営業費用	5,143,945	5,045,098	98,847	2.0
（２）営業外費用	211,613	201,026	10,587	5.3
（３）特別損失	992,007	3,411	988,596	28,982.6
損　　益	310,197	669,040	△ 358,843	△ 53.6

●比較貸借対照表

（単位：千円、税抜き）

資　産　の　部				負　債　及　び　資　本　の　部				
科　目	令和７年度 決算額	令和６年度 決算額	比較増減	科　目		令和７年度 決算額	令和６年度 決算額	比較増減
固定資産	40,247,112	39,006,970	1,240,142	固定負債		15,042,189	13,877,700	1,164,489
流動資産	3,456,494	3,585,247	△ 128,753	流動負債		1,399,763	1,619,348	△ 219,585
				繰延収益		10,562,340	10,924,956	△ 362,616
				負債合計		27,004,292	26,422,004	582,288
				資本金	固有資本金	325,741	325,741	0
					繰入資本金	3,243,446	3,024,542	218,904
					組入資本金	7,649,620	7,167,191	482,429
				剰余金	資本剰余金	2,118,837	2,118,837	0
					利益剰余金	3,361,670	3,533,902	△ 172,232
				資本合計		16,699,314	16,170,213	529,101
合計	43,703,606	42,592,217	1,111,389	合　計		43,703,606	42,592,217	1,111,389

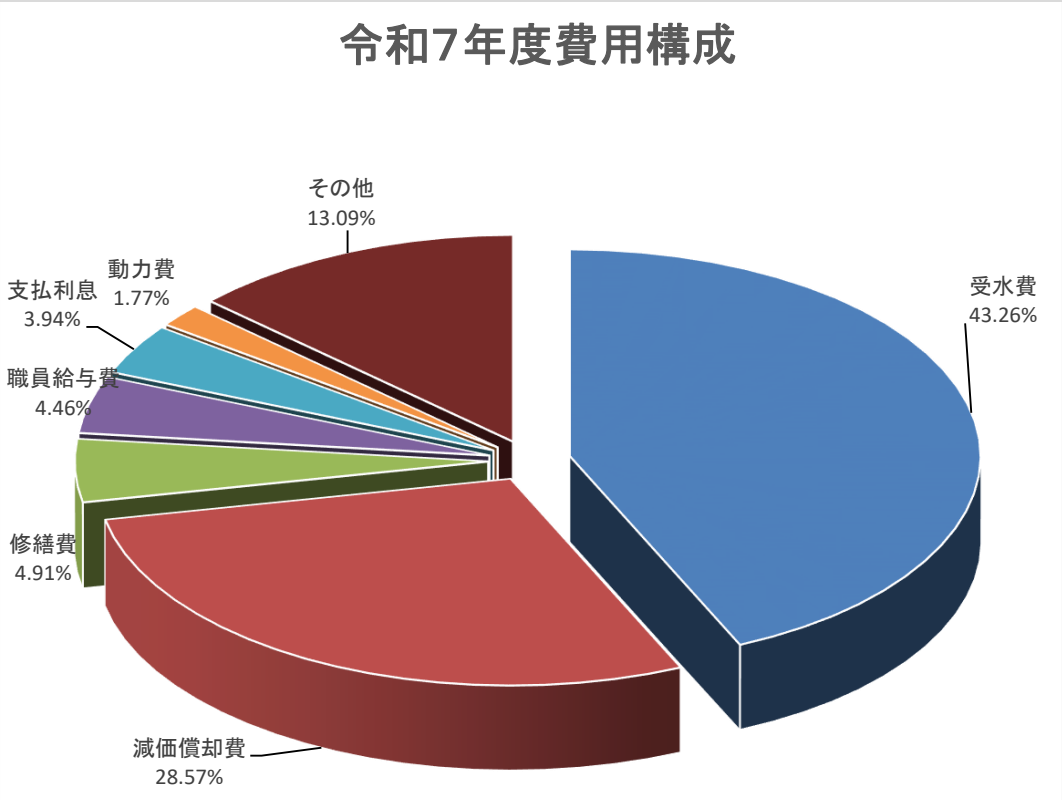
●令和７年度の給水原価費用構成と供給単価

１　給水原価費用構成　※1

（単位：円、税抜き）

項　　目	金　　額	給　水　原　価
職　員　給　与　費	238,830,428	9.65
動　　力　　費	94,624,511	3.82
修　　繕　　費	262,951,016	10.63
減　価　償　却　費	1,529,864,899	61.83
受　　水　　費	2,316,949,815	93.64
支　　払　　利　　息	211,087,172	8.53
そ　の　他　の　経　費	701,250,144	28.34
長　期　前　受　金　戻　入	△ 473,614,336	△ 19.14
合　　計	4,881,943,649	197.30

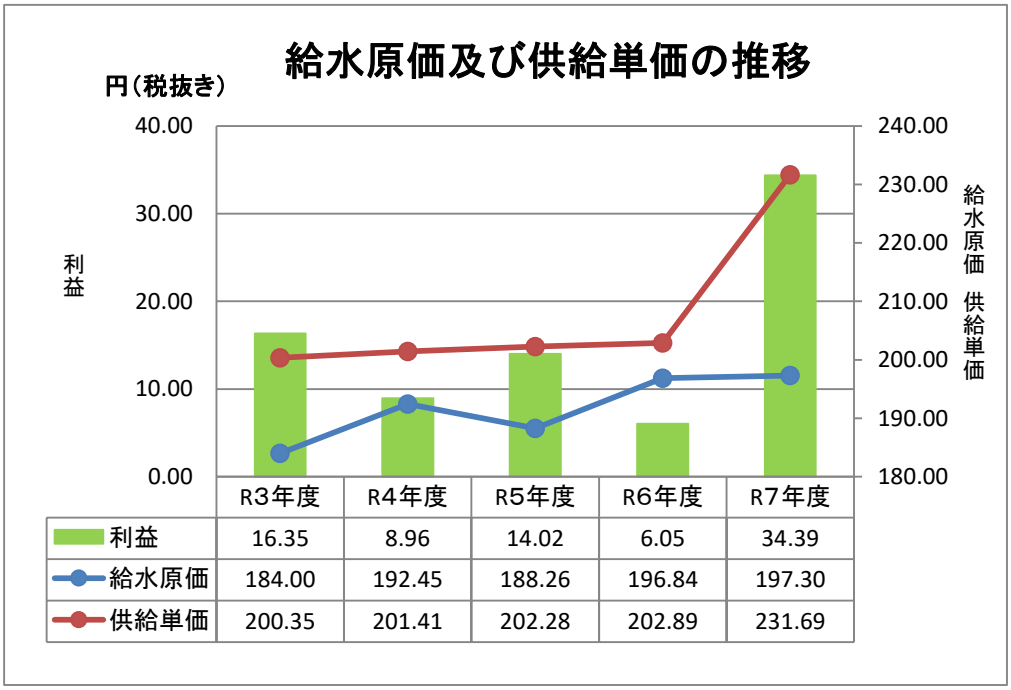
有収水量　※2	24,744,482 ㎥



２　供給単価　※３

（単位：円、税抜き）

項　　目	金　　額	供　給　単　価
給　　水　　収　　益	5,733,160,111	231.69



	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
利益	16.35	8.96	14.02	6.05	34.39
給水原価	184.00	192.45	188.26	196.84	197.30
供給単価	200.35	201.41	202.28	202.89	231.69

※１ 給水原価・・有収水量１㎥当たりに要する費用
※２ 有収水量・・料金収入の対象となった水量
※３ 供給単価・・有収水量１㎥当たりの料金収入

●財務分析表

分析項目		単位	令和7年度	令和6年度	比較増減	全国平均	解説
自己資本構成比率		%	62.4	63.6	△ 1.2	67.40	総資本に対する自己資本の占める割合を示す。 比率が高いほど経営が安定している。
流動比率		%	246.9	221.4	25.5	257.76	企業の支払能力を示す。 比率は200%以上が望ましい。
営業収支比率		%	118.6	105.0	13.6	101.43	業務活動の能率を示す。 比率は100%以上が望ましい。
固定資産構成比率		%	92.1	91.6	0.5	90.05	事業の財産構成の適性度を示す。 比率は小さいほど良い。
総収支比率		%	104.9	112.7	△ 7.8	109.14	収益と費用の相対的な関連を示す。 比率は100%以上が望ましい。
固定比率		%	147.6	144.0	3.6	133.61	資本の固定状態から資金的弾力性を示す。 比率は100%以下が望ましい。
料金収入に占める比率	企業債償還元金	%	14.7	16.6	△ 1.9	18.75	料金収入の中で企業債償還額の比率を表したものである。 比率は低いほど良好である。
	企業債利息	%	3.7	3.9	△ 0.2	3.36	料金収入の中で企業債利息の比率を表したものである。 比率は低いほど良好である。
	企業債元利償還金	%	18.4	20.5	△ 2.1	22.11	料金収入の中で元利償還額の比率を表したものである。 比率は低いほど良好である。
	職員給与費	%	3.9	4.7	△ 0.8	9.09	料金収入の中で職員給与費の比率を表したものである。 比率は低いほど良好である。

●経営分析表

分析項目	単位	令和7年度	令和6年度	比較増減	全国平均	解説
負荷率	%	90.9	88.3	2.6	91.91	施設が年間を通じて有効に使用されているかを示す。 比率は大きいほど良い。
施設利用率	%	71.4	69.7	1.7	59.84	施設の利用が有効かつ適切に行われているかを示す。 比率は大きいほど良い。
最大稼働率	%	78.5	78.9	△ 0.4	65.11	施設の利用及び投資の適性度を示す。
配水管使用効率	㎥/m	17.1	17.0	0.1	15.15	配水管１m当たりの有効利用度を示す。 数値は大きいほど良い。
固定資産使用効率	㎥/万円	6.7	6.7	0.0	6.32	固定資産1万円当たりの配水量の使用効率を示す。 数値は大きいほどよい。
供給単価	円/㎥	231.7	202.9	28.8	219.22	有収水量１㎥当たりの料金収入を示す。
給水原価	円/㎥	197.3	196.8	0.5	214.01	有収水量１㎥当たりに要する費用を示す。
職員一人当たり給水人口	人	8,600	8,181	419	3,519	職員数が適正であるかどうかを示す。 数値は大きいほど良い。
職員一人当たり営業収益	千円	217,831	182,724	35,107	84,237	職員一人当たりの売上高を示す。 数値は大きいほど良い。

※全国平均は、令和6年度における給水人口が15万人以上30万人未満で、受水を主たる水源とし、有収水量密度が全国平均未満の都市の平均値です。
（水道事業経営指標令和6年度より抜粋）